

病害虫発生予察情報

向こう1か月（11月）の予報

平成23年度 予報第7号

東京都病害虫防除所

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

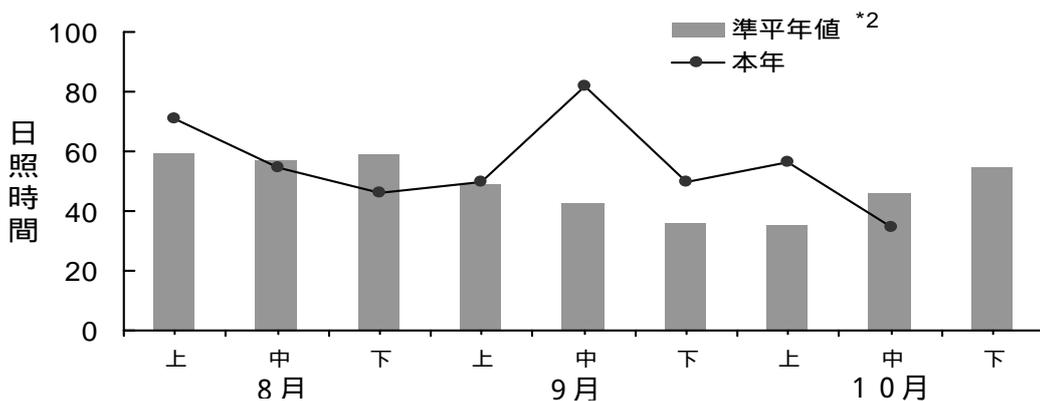
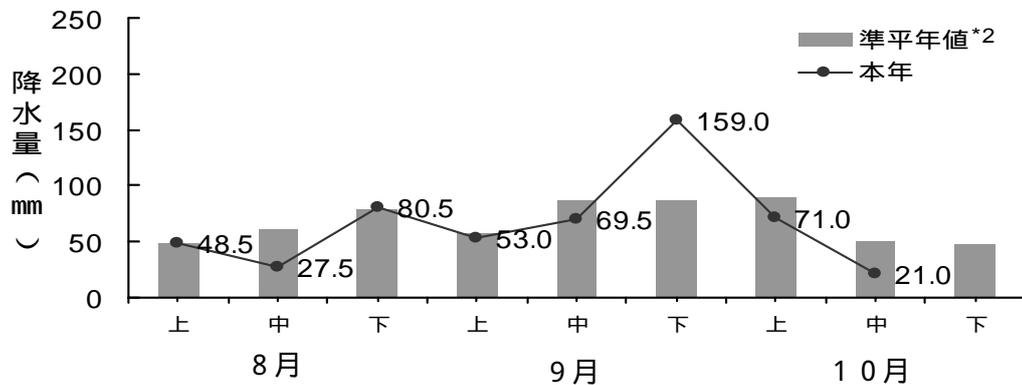
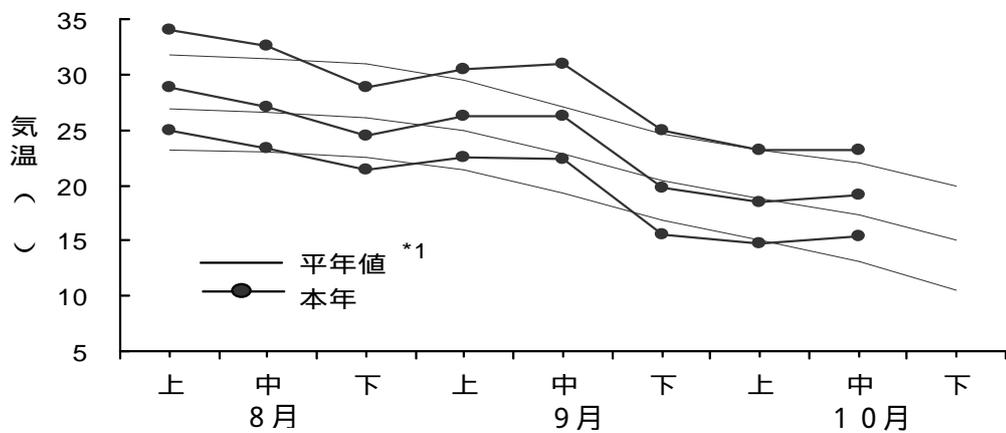
【気象予報】2011年10月28日 気象庁 地球環境・海洋部発表，関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	10	20	70
	降水量	20	40	40
	日照時間	40	40	20

月の前半は，気温が平年よりかなり高くなる見込みです。

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の10月中旬までのデータを示した。

(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1：1981-2010の平均値，*2：1987-2010の平均値

ハダニ・ホコリダニ類の防除時期です！！

10月の定期巡回調査においてイチゴにハダニ類,シクラメン等にホコリダニ類の発生が確認されています。気象予報によると,11月は気温が高いと予想されており,発生は助長されると思われます。

一度発生すると急速に繁殖します。高密度になると防除が難しくなるため,圃場を良く観察して,早期発見,早期防除に努めましょう！

被害が大きい葉や株等は除去し,寄生部位にかかるようにいねいに薬剤散布を行いましょ。

薬剤抵抗性の発達を防止するため,系統の異なる薬剤のローテーション散布を行いましょ！

野菜の病害虫

1. キャベツの菌核病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では現在の発生は各地ともやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く,降水量は並~多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 天候に留意し,防除指針に従い予防的に防除する。
- 2) 薬剤の散布にあたっては,収穫前使用日数に注意する。
- 3) 罹病株は翌春の発生源となるので,早めに処分する。

2. キャベツ,ブロッコリーの黒腐病,黒斑細菌病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では現在の発生は各地とも平年並である。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く,降水量は並~多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い予防的に防除する。
- 2) ブロッコリーは黒腐病に感受性が高いので今後の発生に注意する。

3. ハクサイの軟腐病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では現在の発生は各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は高く,降水量は並~多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 本病は気象条件によっては11月中旬頃まで発生する。
- 2) 発病してからの防除は手遅れとなるので,薬剤の収穫前使用日数に注意し,予防的に防除する。

4. コマツナ,カブの白さび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は並～多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 密植を避け、施設では過湿に注意する。
- 2) 防除指針に従い防除する。

5. ネギのさび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は並～多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

6. アブラナ科野菜のコナガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない(-)
- 2) 巡回調査では全般的に発生は少ない。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。
- 2) 収穫後の残渣の処理を徹底して行う。

7. アブラナ科野菜のアブラムシ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では全般的に発生は少ないが、一部ほ場で多発生している。(±)
- 2) アブラムシ類は各種ウイルス病を媒介するが、各地とも発病は少ない。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。
- 2) 薬剤に対する抵抗性が発達している場合があるので、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う。

8. ホウレンソウのシロオビノメイガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 予察灯への成虫の飛来はやや少ない。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 寒冷紗などの被覆資材により侵入を防止する。

9. ホウレンソウのモモアカアブラムシ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い薬剤を散布する。

10. コナジラミ類(施設)

予報内容

発生量 オンシツコナジラミ：やや少
タバココナジラミ：多

予報の根拠

- 1) 巡回調査ではオンシツコナジラミの発生は少なく、タバココナジラミの発生は多い。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は高いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後、野外から施設内への侵入はほとんどないと思われるが、現時点で発生が多い施設では、防除指針に従い速やかに防除する。

11. トマトサビダニ(施設)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生はやや少～平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は高いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後、春の増加期に被害を出さないため、防除指針に従い防除する。

. 野菜および花き類の共通病害虫

1. 灰色かび病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は並～多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 施設内の過湿に注意し、罹病株や罹病残渣を施設内に放置しない。
- 2) 防除指針に従い初期防除に努める。
- 3) 薬剤耐性菌の発達を避けるため、数種類の薬剤によるローテーション散布を行う。

2. オオタバコガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査ではトマトを始め、各種作物で発生は平年並である。(±)
- 2) フェロモントラップにおける誘殺数は平年並～やや多い。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は並～多いと予想される。(±)

4) 年間の発生活長は今後減少に向かう。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 果菜類の幼果や花き類の蕾を好むので排泄糞に注意,被害果や花蕾を放置せず,速やかに処分する。
- 2) キャベツ,ハクサイ,トマト,ナス,インゲン,ピーマンなどのほか,バラ,キク,カーネーションなども加害する。
- 3) 防除指針を参考にして防除する。

テレフォンサービス
042(525)8407

防除所ホームページアドレス
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予報,発生状況,防除方法などをお知らせ
しています。

防除指針オンライン版平成23年度版公開中!
(防除指針正誤表等最新情報をご確認下さい)

農業に関する詳しい情報は,農林水産省ホームページの
「**農薬コーナー**」をご覧ください。

(<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>)